

SDR-WDR コンバート IP

数学的手法を駆使した独自のコンピュータ アルゴリズム
[DMNA]を用い自然で見やすい映像に補正変換するIP

1 概要

WDR(Wide Dynamic Range)とは、逆光などの明暗差の激しいシーンで、暗いエリアと明るいエリアのどちらも潰れないように補正を行う技術です。一般的なカメラでは撮影表現できるダイナミックレンジが限られるため、明暗差の激しいシーンを一度に全て捉えることができず、白飛びや黒つぶれが発生してしまいます。

このような白飛びや黒つぶれが発生した画像に対して独自技術による補正を行い、視覚的に見やすく、一般的な物体認識アルゴリズムでも対象を検出しやすい画像を提供するIPです。

2 特長

SDR映像に対して、独自のWDRエンジンで映像の見ばえを改善します。高速なアルゴリズムを採用し、他のアプリケーションの動作も阻害しないので、AIによる物体認識の前処理として最適です。

3 WDRエンジンの構成

● ノイズ・リダクション

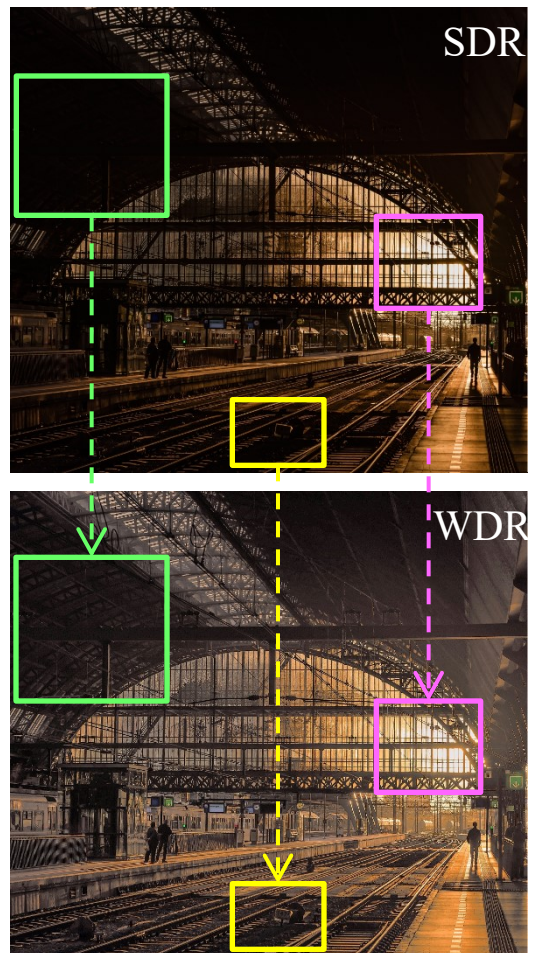
暗部を明るくした際に発生しやすいカラーノイズを抑制するために、ノイズリダクションの処理をします。

● 局所トーンマッピング

暗部は、補正により明るくなり見やすくなります。ガンマの変更で映像を単純に明るくした時に発生する白飛びを抑制します。

● ディテール・エンハンス

映像全体のシャープネスを向上させます。



4 WDR製品ラインナップ

- ハードウェアIP(FPGA)
- ソフトウェアIP
 - x86_64 (SIMD最適化)
 - ARM (NEON最適化)

問い合わせ先

〒141-0031東京都品川区西五反田2丁目12番19号 五反田NNビル7F

株式会社 テクノ マセマティカル

電話:03-3492-3633 FAX:03-3492-3631

email:info-sales@tmath.co.jp URL:https://www.tmath.co.jp

詳しくは右記までお問い合わせください。
製品の仕様は予告なく変更することがあります。